

『チャリティショップ活動を通じたボランティア体験』

～特定非営利活動法人月と風と～

～平成30年度尼崎市自発的活動支援事業 実施報告～

特定非営利活動法人月と風とについて

団体の概要

【団体設立】 2006年

【会員数】 20人

【設立目的】

当法人は、ノーマライゼーションの理念に基づき、しょうがい者（児）などの支援の必要な方とその家族や地域住民に対して、障害福祉サービス事業、生活支援や文化・芸術を通じた社会参画推進事業、地域福祉の政策に関する提言事業、地域福祉に関する研究、情報の収集及び提供並びに啓発・研修事業活動を通じて、しょうがいをもつ方と地域住民が共生できるまちづくりや地域福祉の増進を図ることにより、社会全体の利益の増進に寄与することを目的とする。

～平成30年度尼崎市自発的活動支援事業 実施報告～

実施目的

寄付として、社会参加の手段として、障害者の働く場として、欧米ではポピュラーな『チャリティショップ』。その取り組みを尼崎市市内にも広く知ってもらい、また、ワークショップなどのボランティア体験を通じて参加者同士での相互理解につなげる。

【※チャリティショップとは?】

活動に共感する方々から物品の寄付を受け付け、お店で販売し、様々な支援事業への寄付金を生み出すのがチャリティーショップ。

実施内容

障害者の方・その家族さん・主婦の方を含むメンバーで月1~2回話合いやワークショップ。①『チャリティショップ』を見学する、②接客を学ぶ、③店舗デザインを考える、④テスト営業をする、⑤振り返る、そしてその過程の中で相互理解を深めていく。

【対象者】

尼崎市民（服が好き、人と話すのが好き、尼崎のことが好き、地域に貢献したい、ものづくりをしたい、デザインに興味がある、障害者の方と知り合いになりたい）

【実施時期・内容・回数】

- ①平成30年12月1日（土）意見交換ワークショップ
 - ②平成31年2月14日（木）店舗企画ワークショップ
 - ③平成31年2月16日（土）販売員体験
 - ④平成31年2月22日（金）販売員体験
 - ⑤平成31年3月14日（木）振り返りワークショップ
- 計5回

【実施場所】

月と風と事務所（①②⑤）
NPO法人フリーヘルプ（チャリティーショップ）（③④）

【周知方法】

SNS、チラシ、プレスリリース、コープこうべ機関紙、コープこうべ各店舗掲示板、そのだ子育て支援連絡会メーリングリスト

【参加者数】

総数25人（うち障害者3人、その家族3人、その他地域住民等19人）※1回当たり平均およそ20人

～平成30年度尼崎市自発的活動支援事業 実施報告～

事業の効果・課題などについて

実施して良かった点

『どんなお店なら自分はうれしい?』『どんなお店なら自分は働きやすい?』『どんな人となら働きたい?』という問いを障害者の方を交えて意見交換することで、メンバーの中でも気づきや世界が広がった。

そして、参加者同士の相互理解につながった。



反省・課題など

精神障害者の方の参加を促すにあたり「一度欠席になったら次回のお誘いを定期的に行う」というような配慮が不足した。

その結果身体障害者の方の参加が増え、少し偏った編成になった。

今後の事業について

チャリティショップで服屋の店員体験を経て、実際の接客業のイメージをつかんでもらい、参加者（障害者の方）の一般就労につなげることができたり、今後も他のボランティアさんや障害者の方と親睦を深めていただきたい。

～平成30年度尼崎市自発的活動支援事業 実施報告～